

京慢協発 29-005

私病協発 29-274

平成 29 年 6 月 28 日

会 員 各 位

京都府慢性期医療協会

会 長 清水 紘

一般社団法人京都私立病院協会

会 長 清水 鴻一郎

京都府慢性期医療協会・京都私立病院協会 共催

第 2 回 病院看護師のための認知症ケア講座 開催のご案内

厚生労働省は、認知症高齢者の数が 2025 年には 700 万人を超えるとの推計を発表しており、65 歳以上高齢者のうち、5 人に 1 人が認知症に罹患すると言われていています。

認知症対策は喫緊の課題であり、特に病院においては身体疾患を有する認知症患者への対応力の向上が求められています。こうした背景から、平成 28 年度診療報酬改定では「認知症ケア加算」が新設され、病院における認知症ケアの向上への取組が評価されました。その中でも、特に看護師は認知症ケアの要であり、昨年度に続き第 2 回目として、看護師を対象に認知症患者のアセスメントや看護方法を内容とした標記研修会を下記の要領で開催することとなりました。

つきましては、奮ってご参加いただきますようお願い申し上げます。

なお、本研修を修了された看護師は、診療報酬上の「認知症ケア加算 2」の施設基準に該当する看護師となります。

— 記 —

日 程 平成 29 年 10 月 23 日 (月) 13:00～17:25

24 日 (火) 13:00～19:10 ※両日受講必要

場 所 からすま京都ホテル (京都市下京区烏丸通四条下ル) 3 階 瑞雲の間

対 象 京都府慢性期医療協会及び京都私立病院協会会員病院に従事する看護師

* 准看護師は対象になりません。

* 会員病院の関連の介護・福祉施設・事業所にご所属の看護師は対象になりません。

定 員 200 名

参加費 無料

研修プログラム 別紙 1 の通り

申 込 別紙参加申込書に必要事項をご記入の上、当協会事務局へ FAX (075-354-8802) でお送り下さい。なお、**申込は 1 病院につき 3 名以内とし、定員に達し次第、締め切らせて頂きます。**

* 上記 2 日間両日の受講が必要です。修了された方には、修了証書を発行いたします。

* 本研修を修了された看護師は、診療報酬上の「認知症ケア加算 2」の施設基準に該当する看護師となります。

* 遅刻・早退・中抜けの場合、いかなる理由があっても修了証書は発行いたしかねます。

以上

別紙 1

第 2 回 病院看護師のための認知症ケア講座 プログラム

【1日目 平成29年10月23日(月) 開始13:00 終了17:25】

時刻	所要時間	内容
13:00~13:05	5分	開講挨拶
13:05~14:35	90分 講義	「認知症の原因疾患と病態・治療」 講師 澤田親男(認知症サポート医・北山病院) 看護師も医師とともに、認知症の症状を引き起こす原因疾患に向き合うことが認知症ケアの基本となる。認知症の予防や治療により進行を遅らせることも含め、認知症疾患そのものを知ろう。
14:35~14:45	10分	休憩
14:45~17:15	150分 講義 及び 演習 *演習前 休憩 10分含む	「入院中の認知症患者に対する看護に必要なアセスメントと援助技術」 講師 辰巳弥生(認知症看護認定看護師・宇治おうばく病院) 認知症の人に適切な看護を提供するためには、そのファーストステップとして、アセスメントをもとにケアプランを立てることが必要であろう。そのために知っておかなければならないこと、見落としてはならないことは何かを考えよう。 (演習) 認知症の人に対するアセスメントの情報として求められているものは何か、また、必要な援助技術は何かを考える。
17:15~17:25	10分	アンケート記入・事務連絡

【2日目 平成29年10月24日(火) 開始13:00 終了19:10】

時刻	所要時間	内容
13:00~15:10	130分 講義 及び 演習 *演習前 休憩 10分含む	「コミュニケーション方法及び療養環境の調整方法」 講師 山田亜由美(認知症看護認定看護師・京都民医連中央病院) どのように認知症の人とコミュニケーションをとればよいのか。その人が暮らしてきた生活環境を大切に、施設内での環境、あるいは地域での環境を整え、より穏やかに過ごしてもらうことを考えよう。 (演習) 重度認知症の困難症例を提示し、コミュニケーションの取り方、医療チームでの対応の仕方等を、ディスカッションを通して考える。
15:10~15:20	10分	休憩
15:20~17:30	130分 講義 及び 演習 *演習前 休憩 10分含む	「行動・心理症状(BPSD)、せん妄の予防と対応法」 講師 安里智洋(認知症看護認定看護師・京都府立医科大学附属病院) 認知症の人をケアする上で一番の問題とも言えるのは、BPSD、せん妄等であろう。しかし、それは認知症の人にとっての問題ではなく、周囲にとって大きな問題であるのかもしれない。ケアのレベルアップによって、これらの問題はどうか変わっていくのかを考えよう。 (演習) 参加者各自がBPSD、せん妄の対応の困難事例についてディスカッションを通して考える。
17:30~17:40	10分	休憩
17:40~19:00	80分 講義	「認知症に特有な倫理的課題と意思決定支援」 講師 松岡照之(認知症サポート医・京都府立医科大学大学院医学研究科精神機能病態学) 身体拘束が認知症の人に与える影響、エンドオブライフの意思 確認など、患者、家族の視点に立ちサポートすることを考えよう。
19:00~19:10	10分	閉講挨拶・アンケート記入・事務連絡